

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第46号
文責 校長 西村羊治
令和7年10月29日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

集団宿泊教室

10月23日、24日の1泊2日で5年生は豊野少年自然の家に行ってきました。目的は、「規律・協働・友愛の基本的態度を育てる。青海小学校との友情を深める。自然愛護の態度を育て豊かな情操を養う。」です。5年生は皆と一夜を共にし、ハイキングや自己紹介、ナイトハイク、小物作りなど2日間でいろいろな体験をし、充実した時間を過ごしました。今回の豊野少年自然の家での貴重な体験を、今後の生活や来年の修学旅行に是非活かして欲しいと思います。5年生のみんなならやれます。期待しています。来年度の最上級生！



自然の家で



夕方、私も5年生がいる現地に行きました。5年生が私に気付くと「あっ、校長先生」と声をかけてくれて、笑顔で寄ってきてくれました。その子供らしさと笑顔に「5年生、いい子達だなあ」と思わずにはいられませんでした。また、行くときと帰ってきてからのことですが、6年生が元気に見送ってくれたこと、また帰ってきたときに5年生教室の黒板に「お帰りなさい」のメッセージを書いていました。学年を越えたつながりを感じ、校長として嬉しいことだらけでした。三角小の子どもたちを誇りに思います。このような心を育てくださる保護者の方々、すべての先生方に感謝です。



元気

実るほど頭を垂れる稲穂かな

10月28日（火）午前、5年生のみんなは戸馳島にある田んぼに行き、総合的な学習の時間の学習で稲刈り体験をしました。教室では絶対にできない貴重な体験です。



説明

まず、お世話になる地元の方々にあいさつをしました。次に、その方々に稲刈りの仕方、稲刈り鎌の使い方を教えてもらい、早速田んぼへ向かいました。よく実った稲穂が本当にこうべをたれていました。5年生は、教えていただいたとおりに片方の手で稲の下の方を持ち、次に鎌でいっきに刈り取ります。要領を得るのに数回必要でしたが、慣れると「気持ちいい」



あいさつ

「楽しい」「すっきりする」などの感嘆の声をたくさんあげていました。もちろん「難しい」と言って悪戦苦闘する子もいましたが、どれもが貴重な体験です。毎日の食卓にご飯が普通に出てくるのは、当たり前のことではなく、いろいろな方がお米や餅米の生産に関わり手間暇をかけて大変な思いをされていることを少しでも理解して、食の大切さやありがたさを考えてくれることを期待しています。5年生は田植えから草取り、そして今回の稲刈りと貴重な体験ができました。その場を与えてくださった、池田様はじめ戸馳アグリグループの皆様、また、田尻様、櫻井様、戸馳運輸の尾崎様、地域の方々、スクールバスの運転手様、他にもいろいろな方にお世話になりました。本当にありがとうございました。



稲刈り